

楽耕だより

SATOYAMA×FARM×SCHOOL 山里楽耕
公式ニュースレター

「里山と畑の癒しマルシェ」 ご参加ありがとうございました！



7/9（日）、山里楽耕コミュニティの1周年記念の「里山と畑の癒しマルシェ」を開催。荒れた天候とは対照的に幸せな時間でした。大人19人、小中学生3人、幼児5人、乳児3人。総勢30名の小さな小さなマルシェ。だけど、小さな民家の我が家では、パツパツの満員御礼でした。

東京から来てくれた足踏みセラピスト・西村愛ちゃんの施術は事前予約で満席。地元恵那からリンパアクティベーションで来てくれた平井はなえさんの施術は当日駆け込みで満席。みんな代わる代わる周りに子どもを預け、施術を受けて戻ってくるとほんのり汗ばんで上気しながらトゥルンと艶やかになっていて、ひっそりと「美しいなあ」とほくほくした気持ちになってました。

鹿児島のみすだりつこさんの絵画。飾ったら床の間がグレードアップして、なんかずっと「すごい」感じなの。これ、どう表現していいかなんとも分からないんだけど。「あ、絵画ってこんなにエネルギーを放つものなんだ」と。りつこさんがせっせと染めてくれた虹染めの糸や布が美しくて。みんなで広げて手にとってため息ついて。

そこをバックに若菜さんのワンマン弾き語りライブ。いきなり「最初の一曲は由美子さんに贈ります」なんて、なんて、なんて…泣きそうだった、っていうか泣いたけど内緒！一緒に歌った「翼をください」も楽しかった。またみんなで少しずついろんな歌うたえたらいいなあ！

ほぼほぼ恵那な地元・中津川市阿木の童話作家&山里楽耕ゆいっこ仲間の和田愛さんの童話読み聞かせ。我が家に合うからと選んでくれた『空のあじ』はちょうど来てくれた私の姪っ子と父の姿がみえるみたいだった。児童文学って、こういう世界だったんだね。愛さんの読み上げる声に、別の世界に引き込まれていく。情景が眼前に広がっていく。

みんなで朴葉寿司つくって、七夕の短冊かいて、子どもたちはトランポリン飛んだり、地元の木の積み木で遊んだり。「一周年おめでとう！」って、真理奈さんがロースイーツケーキもってきてくれて、みんなで歓声あげて食べて。

ただただ、私が幸せな時間だったよ。来てくれたみんなにとって、どんな時間だっただろう？ よい時間であったならいいな。同じ時間と空間をともに過ごしてくれて本当にありがとう！ ありがとう！でいっぱいです。

今回来られなかったみんな、また次の企画一緒にやりましょ！！

yumiko

盛夏の田畑の恵みをお届けします♪

～「山里のおすそわけ便」2023#3 ご案内～

採れた順番にお届けしてゆきます。収穫できる時期などの関係で、最初のほうの方と、最後のほうの方とで、中身が少し違ってくることがあります。どうぞご容赦ください。

↓↓↓だいたい、こんな感じです（これから収穫見込み含む）↓↓↓

みんなに入れたい

- ★ジャガイモ
- ★キュウリ
- ★ズッキーニ
- ★ナス
- ★オクラ

できれば入れたい

- ★ししとう
- ★万願寺とうがらし
- ★ミニ・ミディトマト
- ★ピーマン
- ★にんじん／にんじんの葉

入れられることがあるかも？

- ★大葉
- ★ツルムラサキ
- ★トマト
- ★スペアミント



夏休み特別企画「里山に泊まろう！」

ささやかなプライベートキャンプ場がつかれないかと模索しています。ただのキャンプ場ではなく、「ダイアログ・キャンプ場」。外で調理して、喋って、寝る場所がテントみたいなものとか、ブッシュクラフトみたいなものとか。

というわけで、キャンプをしてみる子ども向けの企画をしてみました。自然の中で、やりたいことを探して、やってみる。めっちゃイキイキとした、「自由」と「主体性」を取り戻す時間にできればいいなあと思っています。

詳しくは、こちらまで!!!

